

委員会へのパソコン等持込に対する懸念事項等について（各会派意見）

会 派	項 目 等
自由民主党	<ul style="list-style-type: none"> ①目的を「ペーパーレス化」とするべき ②パソコン等の持込について賛成 ③Wi-Fi環境の整備が必要 ④音が出て委員会審議に影響しないように留意すること ⑤質問の原稿、資料、メモ、法令、条例、会議録、他市の事例、用語等の検索に使用 ⑥メールは禁止 ⑦PC、タブレット端末と同等の機能のあるスマートフォンの取扱をどうするか ⑧将来的には、委員会資料の電子化を検討すべき
創生奈良	<ul style="list-style-type: none"> ①音を出さないこと ②メール、SNSの使用はしないこと ③通話
なら維新の会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 懸念される項目等 <ul style="list-style-type: none"> ①使用できる機器の種類の限定 → ノート型パソコン、モバイルPC、タブレット、スマートフォン <理由>機種によってはタイピング音がマイクに入る可能性がある。 (2) 実施後に再検討が必要な項目 <ul style="list-style-type: none"> ①使用可能な内容 → インターネット検索可能とすればWi-Fi環境が必要、インストール済みの資料閲覧に限定する方法？ ②映像を使用する場合の環境 → Power Point や 画像の映写 委員会室にスクリーンが必要 ③費用を要するものへの予算措置 ④将来的にはペーパーレスを可能とする環境が望ましい。(使用機器の機種統一)
民 進 党	<ul style="list-style-type: none"> (1) パソコンの持込に対する懸念項目 <ul style="list-style-type: none"> ①操作音 ②傍聴者への取り扱い ③審議に関わること以外の操作への取り扱い (2) 基本的に、審議の邪魔になるような大きすぎる操作音さえ注意すれば、操作についての制限は極力少なくすべきと考えます。 (3) 審議の際に、参照できるように、資料の迅速なアップと何らかのデータベースの構築を同時に考える必要があると考えます。
公 明 党	<ul style="list-style-type: none"> (1) 目的を明確にする ①ペーパーレス化など (2) 対象となる機器をどうするのか(パソコン、タブレット端末、スマートフォン等) (3) 使用できる機能について決める必要がある <ul style="list-style-type: none"> ①ワードプロセッサ機能 ②あらかじめ保存しておいた資料の閲覧 ③議事に関する資料の閲覧を目的とするインターネットサイトの閲覧 (4) 注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ①外部との通信(メール、ソーシャルメディアの利用等)、通話、その他議事に関係のない目的での使用 ②個人情報等の配慮 ③電子音や振動音が鳴らないようにする ④電源はバッテリー対応 ⑤動画・写真撮影 (5) 三重県議会のように、「議長又は委員長は、使用できる機能や注意事項に反する場合、その他議事に支障を及ぼすと判断した場合は注意を促し、なお改善されない場合は、使用の中止を命じることができる。」とすることが望ましいのではないか。 (6) 今後の検討課題 ①Wi-Fi環境の整備
自 民 党 絆	<ul style="list-style-type: none"> ①パソコン等のウィルス対策の徹底 ②SNS等の情報発信については禁止すべき ③議員が使用を認めるのであれば、理事者の使用についても認めるべき ④目的を資料の閲覧のみか、インターネット検索まで認めるのか ⑤携帯の禁止をしているが、スマートフォンの取り扱い